

令和5年4月16日

## デジタル技術の活用及びDX推進の取り組み状況

株式会社のびのび

### 1. デジタル技術の重要性

デジタル技術の活用は、顧客満足度の向上・検査効率の改善を達成させ、当社の競争力に対し好影響を及ぼす非常に重要な要素だと考えています。  
具体的には以下の3点より、競合優位性が高まります。

#### A) 見える化の推進

導入予定の機材では課題の解決策で示した通り、従来の機材では見えなかった患部を見ることができ、見える化の推進が可能です。また、左図黄色の線のようにVHS(心臓)、TTA(脛骨)、TPLO(前十字靭帯)をはじめとする内部の大きさを自動で計測可能です。心臓が大きくなっており、負担が大きくなっている等の診断が定量的に行えるようになることで、検査精度の向上が期待できます。

#### B) データ管理の効率化

導入予定のレントゲン装置では、撮影した画像を診療室のパソコンに連携可能です。今まではレントゲン撮影後も、同室で説明を行う必要があり、その間レントゲン室を使うことができませんでした。今後は検査と診断が並行して可能になり、効率的な診療が可能になります。また、iPadをはじめとする端末にデータを一括で管理することができ、効率的なデータ管理が実現されます。

#### C) ワークフローの改善

本事業に実施により、ワークフローの改善が可能です。現在は左のイラスト上のCRを利用しており、本事業ではイラスト下のDRを導入予定です。DRではCRでヒトの手を利用して画像の読み取りを、ネットワークを利用することでヒトの手を使わずに行うことが可能になります。また、これにより撮影時間を7分→2分と短縮することができます。

### 2. 上記を踏まえた弊社の経営ビジョン

「デジタル技術を十分に活用して、効率的な治療を提供し、お客様の待ち時間を短縮する」

当院は本事業を通じてレントゲン撮影・診断の効率化を達成します。検査効率の改善は待合室でのお客様の待ち時間を短縮し、顧客満足度の向上につながります。また、病院への滞在時間を短縮し、ペットの満足度向上にも繋がりたいと考えています。

### 3. 当社の経営ビジョンの実現のための戦略

- デジタルリテラシーを強化する教育
- ホームページの充実化

令和5年4月16日

#### 4. 戦略推進のための組織体制

